

日本の建築等は縮小された精密な構造をあまり所なく見られる様に創意工夫されている。

ちなみに見学所要時間は心残りながら見終るのが約五時間、途中コーヒーション又は食堂へと行くことも出来る。

案内嬢・ガードマンも所々に配置され、質門にもすぐに応じてくれる。将来この博物館は第四展示室への企画も計画されつゝあると聞く。佐倉が、この博物館を東洋一の規模だと自慢するのもうなづける。皆様も一度御覧になって下さい。

古城址めぐり



「谷宗尾城」

谷宗尾城は給食センター上の谷宗山（標高七十一米）にあったが、町上水道貯水タンク設置のため削平され、旧状についてうかがうことはできません。

かつては最高所の第一郭をはじめ



谷宗尾城址（削平前）

数段の平壇があったが、後世の畑地のため段状に削平されたものか、城の遺構であったものか定かではありません。

谷宗尾城には小幡上総守が居城していたとあるだけで、いつの時代のものかわかりません。

小幡氏は佐西郡（佐伯郡）において、神領衆と異りある程度自立した勢力であったことが知られ、大永三年（一五二三）石道に居た小幡興行は大内義興に属しており、一族であったと思われる小幡上総守も大内氏に属し、桜尾城の友田興藤を攻撃するときに守備したものでしょうか。

【芸備日報】記事より

明治二〇年九月六日付

◎開署式 廿日市警察署の新築落成
えたりとは前号に記せしが来る十日午前九時を以って其開署式を執行する、ことに決し本社へも招状を受けたり。